

8. 地域創生

8.1 地域創生委員会（能登キャンパス構想班・COC+・グローバル人材育成班）

委員長：川島 和代 教授

委員：浅見特任教授、牧野教授、垣花准教授、谷本准教授、市丸准教授、田村助教、金子助教、西田事務局長

事務局：宮川専門員

活動内容：

1. 地域創生にかかわる活動について

平成30年度末に本学委員会組織を検討するにあたり、地域創生委員会に能登キャンパス構想推進協議会事業とCOC+・グローバル人材育成事業班事業を吸収して1委員会として運営することが承認された。地域創生委員会として2つの班の事業運営を担うこととなった。

1) 地域創生委員会の活動

委員会は2回実施した。今年度委員会の運営方針を確認した。

2) 能登キャンパス構想班（川島、牧野、谷本、市丸、田村）

本学は、これまで協議会（年2回）と幹事会（年4回）への出席の他、「祭り支援プロジェクト（能登祭りの環インターンシップ事業）」等に学生とともに参加してきた。

平成29(2017)年より「祭り支援プロジェクト」において能登町の矢波諏訪祭りは本学が担当となり、参加学生の募集、事前の連絡・調整、祭り当日の引率等を行ってきた。令和元年度は本学より16名の学生と引率教員3名（他大学も含めた参加総数24名）が参加し、年々地域との絆も深まっている。その他の祭り（黒島天領祭、粟津の秋祭り）も合わせると令和元年度は本学から36名（延べ人数）の学生が参加した。

また、大学祭に能登地区の病院紹介ブースを設ける活動に取り組んだ。公立穴水総合病院からの出展があり、卒業生が病院紹介を行ってくれた。

3) COCプラス・グローバル人材育成班（川島、浅見、垣花、金子）

本事業は平成27年度文部科学省が募集した地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)に金沢大学が中心となって応募した「金沢・加賀・能登で地域思考型教育による夢と志を持つ人材育成」が採択され、本学も参加校として予算措置を受けた。本学では石川の理解を深めるE-learnig教材「地方創生概論」の視聴を促した。

令和元年度、「グローバル人材育成・共創インターンシップ専門部会」の委員として事業に参加し、他大学の共創インターンシップの成果報告やプログラムの採択に加わった。大学間連携共同教育推進事業「学都いしかわ課題解決型グローバル人材育成システムの構築」に参画し、令和元年度は「グローバル人材育成プログラム」に本学の学生4名が申請しグローバル・ヤングリーダー4名を輩出した。グローバル・ヤングリーダー累積人数は12名となった。

『トビタテ留学JAPAN』に本学から初めて1名応募し、第二次審査まで進んだが残念ながら不採択となった。